

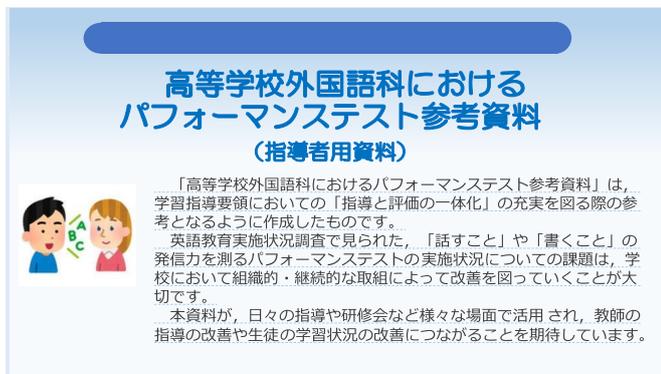
「高等学校外国語科における パフォーマンステスト参考資料」について

文部科学省初等中等教育局教育課程課 外国語教育推進室

1. はじめに

本年度より、高等学校において新学習指導要領が年次進行でスタートし、外国語科では、4技能5領域の指導を一層充実させ、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指しています。しかし、高等学校における発信力の育成の取組、特に「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の3領域におけるパフォーマンステストの実施状況については、改善の余地が見られるところです。

そこで、外国語教育推進室では、これらの3領域の指導に資するよう「高等学校外国語科におけるパフォーマンステスト参考資料」（以下「参考資料」）を作成しました（図1参照）。



(図1)

2. 「参考資料」の内容

冒頭では、「参考資料」の活用方法や事例の見方などを紹介しています。本編では、8つの事例（「話すこと [やり取り]」3事例、「話すこと [発表]」3事例、「書くこと」2事例）を提示しており、各事例でそれぞれ異なるテスト形式を紹介しています（図2参照）。

目次

はじめに	資料のよりよい活用のために 事例の見方（各事例については1～8をクリック！） パフォーマンステスト実施のTIPS	
やり取り	1 ロールプレイ 2 質疑応答 3 ディスカッション	フェアトレードの啓発活動についてアイデアを伝え合おう 思い出を伝え合おう 参加するボランティア活動を決めるために話し合おう
発表	4 スピーチ 5 ポスターセッション 6 プレゼンテーション	尊敬する人について話して伝えよう 生物模倣学による商品開発について話して伝えよう 文化祭での出し物について話して伝えよう
書くこと	7 電子メール 8 論証文	外国の高校生からのメールに返信をしよう グローバル化の健康への影響について書こう

事例において、科目などを記載していません。学校の実態に応じて事例を汎用的に活用ください。（例）話す時間を短くする、長くする、採点基準の条件を変える、条件を追加する、採点基準の記述を変える、課題設定を変える（例：授業で行った活動の話題を変えた課題設定にするなど）

(図2)

また、各事例では、評価規準や準備物、採点の基準、生徒の発話例・作文例とそれに対する採点の例など、実践的な情報を豊富に盛り込んでおり、各自治体・学校の研修等の場ですぐにご活用いただける内容となっています。

さらに、各事例では、「指導と評価の一体化」を円滑に進めていただくために、テストの実施方法だけでなく、単元の目標に準拠したパフォーマンステストや指導を行うためのポイントを提示しています。

3. 最後に

パフォーマンステストの実施に当たっては、「参考資料」の各事例を基に、生徒の達成度を適切に測る内容となっているか、テストまでの指導が目標と一貫したものとなっているか、といった点を意識していただければと思います。パフォーマンステストが学校現場において円滑に実施され、「指導と評価の一体化」が実現されるよう、「参考資料」を積極的にご活用いただくようお願いします。

（「参考資料」はコチラから→）

